

ウォーターシップダウン

ここはもう危険だ！仲間たち遙かなる理想の丘をめざして走れ！

これはもう最高傑作です。暖かい見せ場をもった本当に“いいなあ”と思える映画です。素晴らしい！〈手塚治虫氏〉



ウォーターシップダウンのうさぎたち

原作 / リチャード・アダムス	カラー長篇アニメーション / 日本語版
製作・脚本・監督 / マーチン・ローゼン	日本語版監修・演出 / 畑正憲
アニメ演出 / トニー・ガイ	日本語版主題歌 / 井上陽水
アニメ監修 / フィリップ・タンカン	声の出演ゲスト / 森山周一郎・藤村俊二・橋本ひさみ
音楽 / アンジェラ・モーレイ	ナレーション / はたあすみ
マルコム・ウィリアムソン	サントラック / (株)ポニーキャニオン
編集 / テリー・ローリングス	原作本 / 評論社刊
イギリス映画	日本ヘラルド映画

Watership Down

3000万人の心を
うった青春のバイブル

待望の
映像化!



1972年の発売以来、若い人達の圧倒的な支持を集め、3000万部という超ベストセラーを記録した叙事詩的小説「ウォーターシップダウンのうさぎたち」が、遂に長篇アニメーションとなって登場。

理想の地「ウォーターシップダウン」を目指して苦難の旅を続けるうさぎたち。うさぎを通して、愛と勇気、そして生きることの素晴らしさを高らかに謳いあげた感動作。

準備期間を含め6年の歳月と、200万ドルの製作費を費して完成したこの映画は、昨年アメリカで公開されるや、マスコミ絶賛の声で迎えられ、興業も1千万人を動員するという記録的な大ヒットを飛ばした。

スタッフは、永年ディズニー映画を専門に活躍してきたフィリップ・ダンカンが監修に、又、アニメ演出のトニー・ガイは、30年間イギリスの劇映画・CM・テレビなどで知られる名アニメーターである。製作・脚本・監督は、マーチン・ローゼンが担当している。

ムツゴロウこと畑正憲
が初めて日本語版

監修・
演出を!



「ムツゴロウ」の愛称で親しまれる作家の畑正憲が、初めて日本語版の監修と演出を手がける。この映画の感動を最大限に活かす日本語版は、自然の心、そしてうさぎたちが話す会話の美しさとユーモアを解する人でなければならない。彼は原作が出版されたときから、すでに注目していたが、この映画化を見て、動植物のリアルな描写と絵の美しさに、いっぺんで虜になってしまった、という。

日本語版の声の出演者は、主人公のヘイズルに古川登志夫、弟のファイバーには杉山佳寿子、闘ううさぎビッグウィッグには村松康男など、ベテランの声優たちが登場している。又、藤村俊二、檀ふみ、そして森山周一郎などが脇役としてガードを固めている点も見逃せない。最も注目されるのは、ナレーションに畑氏の一人娘、はたあすみが出演していることで、彼女のやさしい語り口が今後大いに注目を浴びることになるだろう。

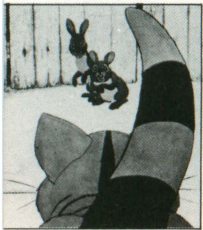
美しい主題歌を
井上陽水が唄う!



「サイモン&ガーファンクル」を解散し、今ではソロ・シンガーとして活躍しているアート・ガーファンクルが、この映画の主題歌「ブライト・アイズ」を歌っている。アートは、彼独特のハイトーンな声と、囁きかけるような歌い方で多くの女性ファンを魅了してきたが、彼が映画のために歌うのはこの作品が初めて。

「ブライト・アイズ」のレコードは、昨年の春に発売されて以来ヨーロッパで300万枚を売り、イギリスでレコード史上第2位という輝かしい売上げ成績を残している。

日本語版では、この曲をニュー・ミュージック界の旗手、井上陽水が歌っており、二人の歌う「ブライト・アイズ」が、それぞれ味のある独特なハーモニーをかもし出しているのを満喫出来るようになっている。



ヘイズル (ヘイズル)
勇敢なリーダー。…彼はウサギたちを、
いったい何処へ導びようとしているのか?

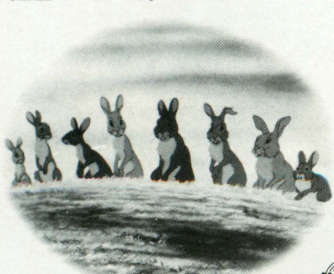
ファイバー (ファイバー)
小さな子言者。…何かが起ろうとしてい
るノボク。首をワナでしめつけられるよう
な危険を感じるんだ。 声・杉山佳寿子

ビッグウィッグ (ビッグウィッグ)
たくましい闘士。…俺は自身を守るた
めに、俺は、どんな恐ろしい敵にも立ち向っ
てみせる。 声・村松康男

ブラックベリ (ブラックベリ)
機転のきく知恵者。河を越すとき、ワナ
から逃がれるとき…ボクの頭はフル回転
して策を見つけ出す。 声・千田光男

キナー (キナー)
ウサギたちの協力者。…キミたちツバサ
ない。ボクあるぞ。ボク飛んで、ドコ、敵
イル、教えるぞ。 声・藤村俊二

General Moundport (ウインドウオート將軍)
強力な独裁者。…ワシに逆らうなど、とん
でもないノはむかう者は、たまた「死」ある
のみだ! 声・森山周一郎



Watership Down カラー長篇アニメーション/日本語版/イギリス映画/1979年度作品/原作本評論社刊/日本ヘラルド映画

ウォーターシップダウンのうさぎたち

*東京音協8月例会作品 ¥1,000

有楽町 日劇前 ニュー東宝 シネマ 1 (571) 1946